

# 新しくなりました～！

## 制服のリニューアル!!



BEFORE



AFTER

今年の10月から制服が変わります。

きっかけは動きやすい制服、そして長い間着ていたためボロボロになっていたためです。現院長が先代院長から医院を継承した当初、スタッフ全員が私服の上に割烹着を着て仕事をしていたことに驚いたそうです。まずは身だしなみの改革に着手し、全員ワンピースのユニフォームに変え、しかも当時では珍しく診療スタッフはピンク、受付スタッフはブルーに分かれて仕事をしていました。現在もその名残はあり、ブルーとピンクに分かれています。

今回のリニューアルでは、基本的に白をベースとし、受付は水色の2本のラインで、看護師は紺、視能訓練士は黄緑、診療助手はピンクのラインが一部に入っています。全体に統一感があり、今以上のチームワークを発揮し、常に感謝の気持ちを忘れず、大切な仲間を信頼し合える関係をこれからも目指して行きたいと思います。

## トイレのリニューアル!!



BEFORE



AFTER

単なる内装更新、設備劣化更新だけでなく、少しでもイメージアップに繋がればと思い、患者様用トイレを5月にリニューアル致しました。暗いイメージ、同じ空間で男女兼用である事、臭い問題、車椅子介助などの課題があがってありました。

今回は、「清潔感」と「機能性」に重点をおいて下記の点を変更しています。

- ①大きな洗面器に変更、②男子便器を撤去し、車椅子介助が楽に行える、③床面はタイル貼りから汚れにくいクッションフロアに変更、④便器はウォシュレット付、温便座に変更、⑤壁面はタイル貼りから壁紙と腰板に変更、⑥トイレへのスロープ撤去、⑦開閉しやすいドアに変更
- 当院は、1階の診療所ということもあり、杖をつかれる患者様や車椅子で来院される患者様が多いです。看護師と相談しながら手すりの位置を決め、また気分不良時などの緊急コールも設置しております。「快適でさわやかなトイレ」を目指していますが、もしお気づきの点などございましたらお申し出ください。

親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

# 瞳きらきら通信

TEL 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2014  
秋  
vol.14



## 院長ごあいさつ



院長 梶川大介

錦織圭くん、全米オープンテニス準優勝おめでとう♪♪

日本人“初”の大快挙！！

197センチの長身から繰り出される時速230キロのビッグサーブを連発するラオニッチ戦、全豪チャンピオンのワウリンカ戦と2戦連続4時間超の激闘を制しさらに4大会7度優勝・世界ランク1位のジョコビッチをも撃破。凄い！！

夫婦揃ってテニスを趣味としており、ジョコビッチ戦は深夜の放送だったので、二人とも仮眠をとり見る気満々。痺れるプレーの連続に「おっしゃ～！！」の歓声とガッツポーズを連発。素敵！！さすが！！素晴らしい～！！

決勝戦の対戦相手は、王者フェデラーかと思いきや何と新進気鋭のチリッチ。過去の対戦成績は5勝2敗で錦織くんが俄然有利。

しかし終わってみれば0-3のストレート負け(涙)  
格上の選手を苦しみながらもなぎ倒し、格下の選手に足元をすくわれるのだから、勝負の世界はホントに怖いです。

錦織圭くんの小学生の頃の文集には  
「夢は世界チャンピオンになること」と書いていたそうです。  
あともう一步！次こそ大丈夫！！頑張れKei！！



## コラム数珠つなぎ

### 今回は、受付・水島がお届けします！

なが～い夏休み。子供達の思い出に東京ディズニーランドへ行って来ました。強烈な暑さとアトラクションへの長蛇の列でしたが、それが吹き飛ばすほどの楽しさでいっぱいでした。ミッキー達に会えた時には、子供達と一緒に大はしゃぎ(笑)。中でも、一番楽しみにしていたシンデレラ城を舞台に、ディズニー物語の映像を写したプロジェクションマッピングの「ワンス・アポン・ア・タイム」は美しく感動的でした。

何度行っても、また行きたくなる素敵な場所。今回の旅は、子供達の成長を喜ぶ半面、一緒に遊びに行くことがだんだん少なくなって、寂しく思う気持ちを埋めてくれて、時にはケンカあり、笑いありのとても充実した時間でした。子供の思い出と言いながら、私が一番楽しんでいたのかも知れませんね。。^^



# 島根の熱い“思いやり塾”

院長 梶川大介



7月下旬、島根県松江市で開催されたしまね思いやり塾に参加して来ました。

この塾は、ご縁を大切にする島根から始める「思いやり」の心を磨く体験学習の場です。

今回のテーマは、「チームワーク（協働）とコミュニケーション」。

2つの興味あるキーワードを見た瞬間、是非とも参加したいと思いエントリー。講師は、鳥取大学医学部准教授・高塚人志先生。とても気さくな先生で話し上手なので内容もすっと入ってきます。講師の先生が一方的に話すセミナー形式ではなく、体験学習を通じて気づきや学びの場とするところがとても良かったです。

自分自身と向き合い、自分を見つめ、今の自分自身の生き方や人間関係を見直し、どのような人間関係を構築していくかを考える、そんな非日常的かつ有意義な時間を楽しく過ごせました。

「立ち位置が違つと、見えるものが違つ」うんうんっ！！「自分が変わるために自分のことをもっと知る」なるほどっ！！「人間がお互いに成長していくためにお互いが《鏡》になる！！《鏡》は相手を評価しない。《鏡》は写つた通りをそのまま相手に伝える。」なるほどお～！！色々な気づきと学びがてんこ盛りでした。ドキドキだった全く初対面の方とペアを組んでのワークでは「コミュニケーションは、情報を伝える力だけでなく、お互いの考え・気持ちを理解し合うことが大事！！」ということを学ばせて頂きました。

6人のグループワークでは、他者と協働することの大切さを学びました。協働とは、共通の目標に向かい、複数の人が協力して働くこと。まさにチームワーク！！

クイズのような色々なお題を出され、それに向き合う6人。最初は戸惑いもあり、皆の意見もまとまらなかったり。リーダーを決める段になってみんながモゾモゾしていると一番若い女の子が「私、リーダーします！！」と言って下さり、賞賛の嵐。クイズの回数を重ねていくうちにチームがまとまり、一体感を感じるようになって来ます。みんなとリーダー像について話し合ったり、先生から頂いた沢山の資料内容は凄く参考になります。課題の後には、必ずみんなと一緒に《振り返り》《分かち合い》を行い、この2つがとても大事である事を痛感。今回、素敵なパートナーとメンバーに出逢えたことに感謝、感謝。初めての参加で不安もあったけど、とにかく場の雰囲気は温かくて、みんな優しく、素敵な人ばかり。すぐに打ち解けられました。

最終の講義で5人のメンバーから頂いた「研修をともしに過ごしてきて

私からみたあなたの姿は・・・」のプレゼントシートには、

私に対する心温まるコメントや感謝の言葉が綴られていました。

こちらこそ感謝の気持ちでいっぱいです。

しまね思いやり塾でご縁を頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

せっかく島根まで来たのでってことで、朝5時に必死のパッチで起きて出雲大社へ。

参拝してから急いで会場へ向かい余裕で間に合い、

島根観光もちょっぴり味わうことも出来ました。

とても内容の濃い～充実の2日間に大満足。

てか、帰りの機中、寝不足で上まぶたが勝手に降りてきて。。。 (苦笑)



## 院長の健康コラム

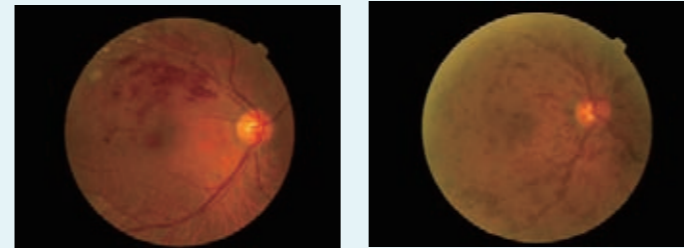
### 網膜静脈閉塞症とは？

網膜の静脈が血栓などの原因で血管が詰まって 眼底出血や網膜・黄斑浮腫(むくみや腫れ)を起こす目の病気です。

網膜静脈閉塞症は、詰まる部位によって2種類に分けられます。

#### ①網膜静脈分枝閉塞症(網膜内の静脈の枝部分が閉塞)

動脈と静脈の交叉部の血栓によって、血流が途絶えることで発病します。閉塞した部分より下流部分の血管から血液や水分があふれ出して、扇状に広がる網膜出血や網膜浮腫(むくみ)を起こします。網膜浮腫が黄斑(網膜のほぼ中央にある視力に関係する最も大事な部分)に及びこともあります。



左) 網膜静脈分枝閉塞症

右) 網膜中心静脈閉塞症

#### ②網膜中心静脈閉塞症(視神経内で静脈の根元が閉塞)

網膜中心静脈は、網膜中心動脈と接しているために、やはり動脈硬化の影響を受けます。血圧の急激な変動や血管自体の炎症により静脈の根元が閉塞することによって、視神経乳頭を中心にして放射状に広がる網膜出血や浮腫が生じ、当然黄斑にも出血や浮腫が強くなります。



#### 原因は？

年齢が高いほど起こりやすいので加齢が大きな要因と考えられており、糖尿病、高血圧症、動脈硬化症の人は発症しやすくなります。

#### 症状は？

- ①急激な視力低下：詰まる部位によって自覚症状は無症状から重い視力障害まで様々です。網膜浮腫が黄斑に及び高度であれば、視力の回復は困難となり、重度の視力障害が残ってしまうこともあります。
- ②突然の視野欠損：眼底出血が広がっている部分は、瞳孔から入ってくる光が網膜まで届かないため、その部分の視野が遮られます。
- ③変視症：黄斑部に浮腫があると、物がゆがんで見えることがあります。

《合併症》

虚血になった網膜には、もろい血管いわゆる新生血管が生じ、硝子体へ伸びて破れることで硝子体出血や網膜剥離を引き起こすことがあり、黒い塊が眼の前に現れて浮遊したり(飛蚊症)、出血量が多ければほとんど物が見えなくなったりします。



#### 治療は？

詰まる部位・出血の範囲・程度・経過など患者様によって様々で、軽症であれば、経過をみているだけで自然に治ってしまうこともあります。

- ①薬物治療：血管を拡張させる薬、血管を強くする薬、血栓を溶かす薬、出血やむくみの吸収を促進する薬などで出血や浮腫の早期消失を目指します。
- ②ステロイド薬：静脈からの血液や水分の漏れを抑制する効果があるステロイド薬を眼球の中(硝子体内)や外側に注射をする治療法。
- ③抗VEGF薬：静脈からの血液や水分の漏れを抑制する効果がある抗VEGF薬を眼球の中(硝子体内)に注射をする治療法
- ④レーザー網膜光凝固術：(1)急性期での出血・浮腫の吸収をできるだけ早く消失させるため。(2)硝子体出血を予防するために行われます。
- ⑤硝子体手術：最近では黄斑浮腫を取るためにも行われるようになり、視力の改善が得られることがあります。